

# 話し合う時間を大切にしています



矢口敏之さん（33歳）と香織さん（30歳）ご夫妻は、共働きの夫婦です。平成十一年に結婚し、翌年には長女・千華ちゃんが生まれました。お二人は仕事をしながら共同して子育てを行っています。育児真っただ中、若いご夫婦の視点から、家事や育児の考え方をお聞きしました。

## 仕事と育児の両立に漠然とした不安

お二人はどんな仕事をしてい

すか。  
香織さん 農業団体で栄養士の仕事をしています。

敏之さん コンピューター関係の会社で働いています。営業の仕事なので、勤務時間はかなり不規則なんですよ。

三年前に長女・千華ちゃんがお生まれになったんですね。

香織さん わたしは勤めているので、仕事と育児を両立できるか漠然とした不安を抱えていました。子どもが病気になったときや、自分が病気になるたときに、同僚に迷惑を掛けるのではないかと、そう思っていました。

敏之さん 妻とは、結婚した時から家事の分担について話し合っていたので、家事や育児など、自分のできることはなんでもやるつもりでした。もちろん、ミルクを飲ませたりおむつを替えたりすることに抵抗

はありませんでした。それでも、妻と話し合ってみると、本当に不安に思っているんだなと感じたんです。それで、手伝うだけでなく、できる限り時間をつくり、妻の相談に乗りたいと考えるようになりました。

## 子どもの様子をメールでやりとり

家事はどうですか。

敏之さん 洗濯などは、時間が空いているほうがする、というようないリズムに自然となっています。料理は嫌いではないのですが、妻が上手なので手を出せません。

香織さん でも、食事の後片づけは夫がよくやってくれます。また、土日曜には掃除などをやってくれるので、わたしの自由になる時間が取れるんですよ。

子どもさんは保育所に通っているんですね。送り迎えはどうしていますか。

敏之さん 勤務先が近いので、たいていがわたしが送っていきます。最初は、泣かれて困ったこともありましたが、二歳になった今は、友達と会うのが楽しいようです。そんな様子を、携帯電話のメールで妻に知らせています。

香織さん 帰りは、わたしの実家が近いので、母が迎えに行っています。子どもは一日の出来事を楽しそうに話します。わたしもその内容をメールで夫へ送っています。